



三善会四季報

はるか

2025. 春号 No.153

み よ し か い
三善会グループ

〒795-0046 大洲市春賀甲1688番地
TEL (0893) 26-1216 FAX (0893) 26-1217

- 障害者支援施設 大洲ホーム
- 大洲・八幡浜市障害者相談支援事業
- デイサービスセンター 春賀
- 在宅介護支援センター 春賀
- 居宅介護支援事業
- 訪問ケアステーション 春賀
- グループホーム はるか
- グループホーム 春の風
- 特別養護老人ホーム ぎおん



頭の体操

看護師 竹田 重美

デイサービスの利用者の皆様は、体のリハビリはもちろん、頭のトレーニングにも励んでいます。

頭の体操の時間には、3つの言葉・10ケの品物を覚えて頂き、時間を空け答え合わせをします。利用者の方の中には、毎回食事の後に思い出しながらノートに記入されている方もいらっしゃいます。中には、寝る前に思い出されている方も...

問題を出している私より覚えていらっしゃる事に感心しています。昨日の食事メニューを思い出す事も脳トレになるそうです。何日前まで思い出せるか試してみませんか？

障害者支援施設 大洲ホーム便り

ホームページ <http://www.ecomnet.or.jp/~ohzuhome/>
メールアドレス ohzuhome@ecomnet.or.jp

「初詣」

利用者 兵頭 悌司

1月1日水曜日に約12名の利用者と職員で厳島神社に初詣に行きました。歩いて移動する方もいて周りの景色や冬の冷たい

1月1日



風を感じながら厳島神社に向かいました。到着して鳥居の下で記念写真を撮り、その後は職員が代表して上に上がり参拝をしました。今年も1年皆さんが安全に過ごす事が出来ますように。

柚子とり

生活支援員 新家 雄大

12月5日、施設の敷地にある柚子畑で実った柚子の収穫を行いました。

今年は例年よりは量は少ないものの、黄色に実った大小様々な柚子を選別しながら収穫しました。

収穫した柚子で、柚子風呂を楽しんだり、搾った柚子酢を料理に使用して利用者様に味わっていただきます。

12月5日



利用者作品集

大洲ホーム文芸

俳句教室は、清水先生のご指導で開催されています。
今回は、春から初夏にかけての作品を掲載しました。

◎今回の花丸作品

◎好きな人にバレンタインデー胸ずっきゅん

菊池 久美

◎カピバラが柚子湯に入る動物園

高田 栄作

バレンタインデー一緒に食べるチョコレート

角石 きぬよ

雨あがり光り輝く猫柳

泉 美代子

逃げ回る鬼が怖いや節分祭

渡辺 麻矢

若草を鼻歌交じりで踏んでいく

山本 松義

冬紅葉空き家の庭を彩りて

平高 浩二

おでん鍋具材色々まず卵

仙波 芳友

かぼす湯で体と心が温まる

山田 浩



清水先生の俳句教室

感染症の知識と対策の研修

看護師 大下 美奈

12月18日、感染症についての研修（教育と実地訓練）を行いました。

始めに、感染防止の取り組み、物品の備蓄確保について説明しました。その後3グループに分かれ、初動対応の方法について話し合い、発表して頂きました。

次に、陽性者発生時の居室への準備物の設置、ガウンの着脱方法、嘔吐処理の実地訓練を行いました。

今回行った事は感染を拡げない為の一番重要な事です。一人一人が意識付けして行っていけたらと思います。



東中学校クリーン活動

サービス管理責任者 城 本 直 也

12月18日、大洲東中学校の生徒さんにて大洲ホームの掃除をして頂きました。

当日は気温も低い中、1年生から3年生あわせて14名の生徒さんが来てくれました。

ぞうきんを使って一生懸命に窓を拭いたり、サッシを掃除してくれました。

今年は利用者さん有志も数名一緒に清掃活動に参加され共に汗を流されました。

大洲東中学校の生徒の皆さん本当にありがとうございました。



大洲ホームクリスマス会

自治会ひじかわ会長 坂 口 雄 二

12月15日、大洲ホームでは家族の皆さんと一緒に一足早くクリスマス会を行いました。

オープニングイベントとして、利用者・職員の有志によるハンドベルでのジングルベルの演奏。

そしてブランケットさんのミニコンサートが開かれました。美しいハーモニーでクリスマスの曲や馴染みのある歌を披露して頂き、利用者さんは手拍子や一緒に歌って盛り上がっていました。

厨房職員が腕を振った豪華な料理は、とても美味しく感動しました。家族会からのプレゼントやケーキもあり、素敵な1日となりました。

クリスマス音楽イベント耳澄ます

利用者 徳山 聡



愛媛マラソン 応援

サブリーダー

谷 上 隼 人

2月9日愛媛マラソンが開催され、大洲ホーム生活支援員のMさんが出場しました。

日頃熱心にトレーニングを積み頑張っていたので、是非目標達成してほしいとホールで利用者・職員でテレビの前で応援しました。

Mさん自己ベスト更新おめでとう!!利用者さんも我が事のように喜ばれていました。



大洲東中学校生からの贈り物

サブリーダー 鎌田 梨江

今年も大洲東中学校生より、ピカピカの車椅子を一台寄贈していただきました。



アルミ缶のふたを集めてその収益で購入してくれたものです。大洲東中学校の皆様、ありがとうございました。大切にさせていただきます。

自治会新年会

自治会ひじかわ会長 坂口 雄二

2月26日、延期となっていた自治会新年会を行いました。

今回は愛媛プロレスの皆さんに迫力ある路上パフォーマンスを披露していただきました。利用者さんや見に来られた家族さん、職員誰もが、生のプロレスラーの技を目の前で見て大興奮されていました。

昼食は厨房職員が腕をふるった豪華な食事で、とても楽しい新年会となりました。



2月
26日

鰯の解体ショー

厨房職員 西岡 秀樹

2月26日、自治会新年会が催されました。プロレスで盛り上がった後、大勢の利用者様の前で鰯の解体ショーを行いました。

日頃見られない厨房の仕事をみていただき、コックサービスの試みは皆さんに喜んでいただけたのではないのでしょうか。さばいた魚は、昼食ににぎり寿司でふるまわれ、利用者さんは美味しくすぐに食べられました。



2月
26日

2月年間研修

マネージャー 清水博美

2月19日9時から大洲ホームで全事業所対象の年間研修「メンタルヘルス」が行われました。

ストレスの解消・軽減方法や、ボールを使って言葉のキャッチボールの技法を学びました。心の健康を保ちながら、穏やかに楽しく日々の利用者様の支援にあたっていきたいものです。



雛飾り

サブリーダー 鎌田 梨江

3月3日の桃の節句に合わせて、利用者さんと一緒にお雛様を飾りました。1年に1度の事、「これここで合ってる？」などと見本を見ながらワイワイと飾り付けました。最後に雛段の前で皆でおしとやかに写真をパシャリ。

この辺りでは、一月遅れの4月3日が桃の節句の為それまでの1ヶ月間、ホールを彩ってくれます。



節分祭

利用者 大澤 亮

2月3日、大洲ホームで恒例の節分祭を行いました。今年の年男、年女の紹介の後、鬼に扮して豆撒きが始まりました。



「鬼は外」「福は内」のかけ声と一緒に豆が撒かれ鬼を倒すことが出来ました。

鬼達は同法人のグループホームとデイサービスを訪ね、各場所で盛り上がり厄除けを行いました。

鬼がいる豆撒きやるの5年ぶり

利用者 高田栄作

三善小学校交流会

理学療法士 笹本美由樹

3月12日大洲ホームにて利用者様との親交を深める為、三善小学校の5、6年生が来園されました。

生徒さん達は、全身で踊りながらのソーラン節や校歌、手話を交えての歌を披露してくれました。

短い時間でしたが、利用者様の近くで歌ったり踊ったりしていただき、楽しい時間を過ごすことができました。

手作りの素敵な贈り物もいただきました。



12月
23日

クリスマス会

看護師 山本 紋華

寒くなったことで、インフルや風邪を引きやすい季節になりましたが、12月23日にぎおんではひと足早くにクリスマスが来ました。

風船バレーでは、チーム対抗で皆さん力いっぱい手を延ばして返していました。歌も歌って楽しく1日を過ごされているのを見て、いつも寝たきりや反応が薄い利用者さんもこの日だけは笑顔になられて、うれしい気持ちになりました。

楽しい行事が続いて、みんなが参加できたらいいなと思います。



ぎおん祭り

介護員 後藤 愛美

祇園神社で行われていたぎおん祭りに、1月31日利用者様4名の方と一緒に藤縄神楽の見学へ行ってきました。皆さん真剣な眼差しで見学されていました。



行きの道中は皆、口数多く話が弾んでいたのですが、帰りは「寒いなあ早う帰ろうやな」という声かけになっていました。少し肌寒かったですが、季節を肌で感じ良き気分転換になったのではと思っています。

「ぎおん」の人達と

交流会をしたよ

栗津小学校 中田 悠里

今日は、「ぎおん」の人達と交流会をしました。まず自己紹介をしました。みんながニコニコして聞いてくれたので安心しました。次にダンスをしました。少しだけまちがえてしまったけれど笑顔で出来たので、良かったです。次にクイズやなぞなぞをしました。せりふ通りには出来なかったけれど協力出来たので良かったです。次に、お話タイムをしました。最初は、はずかしかったけれどスタッフの人達の仕草を真似すると相手とお話をするのがだんだん楽しくなりました。次も交流会をしたいです。





防犯訓練

介護支援専門員 浅井 佑輔

大洲警察署より、署員2名に来て頂き、防犯に関する講習を実施して頂きました。目的は、職員・利用者・自分自身の安全確保。来年度からの防犯に係る安全の確保について、情報収集に努め、緊急事態発生時の合言葉を決める、業者等への入館許可証の発行等できることを少しずつ行っています。

節分行事

介護員 柳 尚也

2月2日、節分の日なので邪気を払い、福を呼び込むために、豆まきを行いました。鬼に仮装した職員が1階と2階を回り、利用者様に新聞で作成した豆や紅白の玉を撒いて頂きました。

利用者様と職員が楽しく行えました。



新人紹介



●障害者支援施設大洲ホーム 村上 義光

いつも笑顔になってもらえるように頑張ります。



●グループホーム春の風 薦田 康雄

グループホームは初めてなので分からない事ばかりですが、なるべく早く仕事を覚え、利用者の安全と笑顔で過ごせるよう支援していきます。不器用ですがよろしくお願いします。



●グループホーム春の風 高井 瑠哉

初めまして。前職はグループホームで9年デイサービスショートステイを経験してきました。まだまだ未熟ですがよろしくお願いします。

訪問ケアステーション春賀だより

心も体もぽっかぽか

訪問介護員 祖母井ひろみ

12月のヘルパー会は、腰痛予防として3B体操を行いました。柔軟体操から始まり、ボール・ベルを使って、音楽にあわせて、身体を動かしました。笑い声も聞こえ、楽しく、かちこちの身体をほぐすことができました。暖房がいらないうちに、温まりました。心身共にリフレッシュできた時間になりました。



春賀便り

クリスマス会

介護員 菊池 美和

12月18日から24日までの期間、毎年恒例のクリスマス会を行いました。

利用者の方にもサンタの衣装に着替えていただき、プレゼントを運ぶゲームやプレゼント積み上げなどをしました。職員がサンタやツリー、トナカイの衣装を着てダンスをし、とても盛り上がったクリスマス会になりました。



雪の思い出

生活相談員 山本 太紀



今季最強寒波にて、2月に一面が真っ白になる程の積雪となりました。

雪には良し悪しな思い出がありますが、私の1番の思い出は、兄弟と遊んだ肥料袋での雪滑りです。スピードが出てスリリングな一方、小石や段差があればお尻が痛いなの。

利用者の皆さんにも、雪の思い出を感じて頂きたく、雪だるまを作成したところそれを見た方からは、「昔作ったなあ」「昔はもっと積ってた」等と様々な雪エピソードを話して下さいました。

節分祭

介護員 菊池 美和

2月3日にデイサービスで節分祭を行いました。節分に関するクイズや、鬼退治ゲームで盛り上がりを見せている最中、なんと大洲ホームから3人の鬼がやって来ました。

利用者の方々と一緒にお手玉を豆がわりに、「鬼は外、福は内」と豆まきをし、無事鬼退治に成功しました。

我が家では豆まきをしないので、デイでする事ができてとても楽しかったです。利用者の方々にも楽しかった思い出として残るといいなと思います。



「認知症ケアの実践」について勉強会

所長 上満佐智子

毎月テーマを決めて業務終了後に勉強会を開いています。今回は認知症ケアについて、動画を観ながら、日々のケアの振り返りをしました。認知症を正しく理解することが大切です。

住み慣れた地域での暮らしが継続できるように、私達微力ですが取り組んで参ります。寄り添った支援を地域全体で広げていきましょう。お願いします。



避難訓練実施

介護員 宗金 清一

この時期は、火を使う機会が多く、また空気が乾燥し火災の発生が増えます。消防署の方に来て頂き、避難訓練の様子を観て頂いたり、消火器の使用方法を指導して頂きました。火事は生命と財産を奪うので火事を起こさないよう努めます。



クリスマス会

介護員 水 井 み え 子

利用者さんのキーボードの演奏に合わせて、「ジングルベル」を歌いクリスマス会が始まりました。チーム対抗でゲームをしたりカラオケを楽しんだり、職員はサンタに扮して場を盛り上げました。利用者へのささやかなプレゼントもありました。おやつには、おいしいケーキを食べられ喜ばれていました。



にぎやかなはるかの食卓

リーダー 樋口 めぐみ

「あけましておめでとうございます」

新年の挨拶から元旦が始まりました。おせち料理にお雑煮、デザートや御神酒



もついて、にぎやかな食卓になりました。

「今年も1年ぼちぼちがんばりましょう」と声をかけ合って、みんなが元気で過ごせますように…と願いを込めて、いただきました。



節分の日

介護員 好崎 貴秀

2025年の節分は2月2日でした。

グループホームはるかでは、毎年豆に見立てた新聞紙を丸めた球で鬼に扮したスタッフの鬼退治をします。

今年も1年、皆様が健康で過ごせますように。



春の風便り

長浜小学生との交流

介護員 兵頭美千代

12月2日、長浜小学生の4年生29名が来所され、1階2階に分かれて交流されました。歌や踊り、劇を披露していただき、入居者の方、とても喜ばれ一緒に身体を動かして踊られる方もいました。中には、涙を流される方もいましたが、握手をされ、「元気で頑張つてね」と声をかけられる入居者の方もおられ、見ているとなごやかな気持ちになりました。ゲームでも盛り上がり、声援がいつもより盛大でした。1時間ほどでしたがとても喜ばれ、楽しまれた1日でした。

12月2日



12月誕生者

介護員 高月功輔

12月は3名の入居者の方が誕生日を迎えられました。誕生日当日にホールを誕生会用に飾り付けをしたり、皆で集まって写真撮影を行ったりしてお祝いを行いました。スタッフが何歳になりましたかと聞いたりして楽しい時間を過ごして頂きました。これからも楽しく元気に過ごして頂きたいと思います。



12月30日



門松作り

介護員 高月功輔

12月30日（月）に春の風の玄関に門松を作成し設置しました。午後から入居者の皆さんも見えて「立派な」と喜ばれ写真撮影を行いました。新年を気持ち良く迎えられたいと思います。

12月25日



クリスマス会

介護員 中岡正志

12月25日（水）お天気も良く春の風ではクリスマス会を行いました。ジングルベル、きよしこの夜などクリスマスソングが流れると利用者さん自ら鈴を鳴らされました。サンタの衣装に着替え居室で待機していた自分の耳にはソリに揺られて鈴が鳴っているかのように心地よく聞こえていました。歌が終わりサンタクロースが登場すると皆さん笑顔で迎えられ、プレゼントをお渡しすると「有難う」と言われ大変喜ばれていました。いくつになってもプレゼントを貰うのは楽しいこと、笑顔を見せて頂き自分達も笑顔になり大変力を頂きました。

節分行事

介護員 石 井 恵 理



「鬼は外」「福は内」の掛け声で次々に鬼に向かって豆の代わりにお手玉を投げ、笑いあふれる豆まきになりました。

また、フェルトで作った恵方巻きを巻いて、かぶりつく真似をし1年間の邪気を払い無病息災を願いました。



お菓子作り(ホットケーキ作り)

介護員 兵 頭 美 千 代

久しぶりのお菓子作り(ホットケーキ)を行いました。ホットプレートで焼いているホットケーキを見ながら、「もういいことないかい?」「ひっく



り返してええよ」「まだ早いよ」などの会話を交えながらの時間もあり、ひっくり返す人、皿に出す人と手分けして手伝いをさせていただきました。昔を思い出し、「昔、作りよったよ。」と言われる方もおられ短い時間でしたが、喜ばれる時間でもありました。



1月
25日



火災が起こらないことが1番ですが、万が一起こってしまった時は、指導して頂いたことを実行できるように身に付けておきたいと思います。

避難訓練

介護員 倉 本 陽 介

1月25日に夜勤帯1階厨房より火災発生を想定した避難訓練に参加しました。訓練後の総評にて、気になった点を指摘・指導して頂きました。

訓練後は、消化器の使用方法を分かりやすく指導して頂きました。

リレー随想

母になって

思う事!!

春の風介護員 谷田 恵



私には、
4人の子供
がいます。
忙しくも子

供の成長を実感しながら、楽しい毎日を過ごしています。でも、母親は思っていたより大変です。子育て、家事、仕事に追われる日々です。母になって、母の偉大さや母親業の大変さを感じています。私の母親もきつと同じ思いをしながら、沢山の愛情を注いでくれたのだと思います。私も、沢山の愛情を注ぎ、今を大切に子供と一緒に学び成長したいと思っています。

施設入所のご案内

施設への入所をお考えの方に、三善会グループの介護保険関係施設をご案内いたします。

【グループホームはるか】

(春賀) 0893-26-1165 担当：樋口

【グループホーム春の風】

(長浜) 0893-52-2711 担当：徳森

○1ヶ月の費用：約11～12万円

【地域密着型特別養護老人ホームぎおん】

(八多喜) 0893-57-9565 担当：宮内

○1ヶ月の費用：約10～11万円

※負担の減免を受けた場合、約4～10万円

各施設の利用料金は個人の状況により変動します。詳しくは担当者までお気軽にお問合せください。



御厚意に感謝します

【12月～3月】

- 角石 高春様 (八幡浜市)
- 坂田 安香様 (八幡浜市)
- 澤井 弘説様 (西予市)
- 富永 澄香様 (大洲市)
- 宮西 輝光様 (八幡浜市)

- 菊池 敏則様 (大洲市)
- 杉山 房香様 (松山市)
- 脇田 光栄様 (八幡浜市)
- 清水 星凜様 (大洲市)

【順不同】

編集後記

伸びる日脚と共に、新たな季節のサイクルの起動を感じる頃となりました。

本号は冬から春にかけての暮らしの一端を切り取って編集しました。

今回も多くの方々のご投稿を頂き発刊することができました。ご協力に感謝します。

ひと言...